



AgileWorks R3

外部データベースガイド

R3.2 第1版(2025/10/31)

目次／索引

1.	外部データベースについて	4
1.1.	外部データベースとは	4
1.2.	接続可能なデータベース	4
1.3.	データの名称・型について	4
	外部データベース内のテーブル・ビュー・カラム名について	4
	マスタ参照で利用できる型	4
2.	外部データベースの設定と利用	6
2.1.	外部データベースの設定	6
2.2.	マスタデータとして登録	7
2.3.	書類データ出力先設定として登録	7

◆ 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第 1 版	2025 年 10 月 31 日	第 1 版作成

1. 外部データベースについて

この章では、AgileWorks の外部データベースについて説明します。

1.1. 外部データベースとは

外部データベースとは、AgileWorks から接続可能な AgileWorks のデータベースとは異なるデータベースを指します。

AgileWorks からは以下の操作が可能となります。

操作	処理
データの参照	マスタデータとして登録し、マスタ参照ウィンドウで表示する
データの挿入	書類データ出力先設定によるデータの挿入

※AgileWorks からデータの削除・更新は行えません。

1.2. 接続可能なデータベース

AgileWorks 自体が動作可能なデータベース種別、バージョンに対して接続が可能です。詳細は「Aw00-動作環境とモジュール構成」の「サーバー動作環境」をご参照ください。

1.3. データの名称・型について

外部データベース内のデータについて、以下の仕様をご確認ください。

外部データベース内のテーブル・ビュー・カラム名について

外部マスタ(拡張)のテーブル名、又はビュー表名に利用できる文字は以下の通りです。

- ・半角英数字
- ・アンダースコア(_)

マスタ参照で利用できる型

外部データベース内のテーブル・ビューをマスタデータとして利用する場合、利用できる型に制限があります。マスタ参照ウィンドウは、直接 SQL 文で項目検索や一覧表示を組み立てられる機能ではありませんので、日付系カラム等を利用してしまうと、

- ・一覧表示の書式が DB 依存の内部的な表示形式になってしまう。
- ・対象カラムに対して、絞り検索できない。

等の制限が出てしまう為、あえて文字型・数値型のカラムのみマスタデータとして定義される仕様にしております。

マスタ参照ウィンドウから利用できる型は下記の通りです。

※()内の n 又は m には利用する文字数が入ります。

▼Oracle Database の場合

型	マスタデータ上の型
CHAR(n char)	文字
VARCHAR2(n char)	文字
NUMBER(n,m)	数値

▼Microsoft SQL Server の場合

型	マスタデータ上の型
char(n)	文字(UNICODE は利用できません)
nvarchar(n)	文字
int	数値

tinyint	数値
smallint	数値
bigint	数値
float	数値

▼MySQL の場合

型	マスタデータ上の型
char(n)	文字
varchar(n)	文字
tinytext	文字
int	数値
tinyint	数値
smallint	数値
mediumint	数値
numeric	数値
bigint	数値
float	数値

2. 外部データベースの設定と利用

2.1. 外部データベースの設定

以下の画面より、新規作成します。

▼管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】→【システム/外部データベース】

外部データベース <全1件>

コード	外部データベース名	DB種別	サーバーアドレス	ポート番号
kanjo_db	勘定科目DB	Oracle	10.71.1.121	1521

▼外部データベースの識別コード/名称と接続先のデータベース種別などの情報を入力します。
入力後、「接続先 URL を生成」を押下し、「接続確認」を実施してください。

外部データベース定義

保存 接続確認 閉じる

コード*	kanjo_db	
外部データベース名*	勘定科目DB	
データベース種別*	Oracle	
サーバーアドレス*	10.71.1.121	
ポート番号*	1521	
サービス識別子/SID*	orcl	
ユーザー名*	kanjo_user	
パスワード*	
接続URL*	接続URLを生成	jdbc:oracle:thin:@10.71.1.121:1521:orcl

▼AgileWorks が利用している DB 種別とは異なる DB へ接続する場合、JDBC ドライバのアップロードが必要となります。
以下は OracleDB の JDBC ドライバをアップロードする画面です。
JDBC ドライバは各データベース種別の公式サイトより取得してください。

JDBCドライバのアップロード

登録 閉じる

ライブラリ種別	ファイル名パターン	ファイル
JDBCファイル本体	ojdbc*.jar	ファイルを選択 選択されていません
NLSサポート	orai18n.jar	ファイルを選択 選択されていません
ONSサポート	ons.jar	ファイルを選択 選択されていません

2.2. マスタデータとして登録

マスタデータ定義の作成時に、用意した外部データベースを選択できます。

- ▼管理サイト【フォーム管理】→【フォーム設定】→【マスタデータ設定】
【新規】→【外部マスタ(拡張)】からマスタデータ設定画面を起動すると、「データベース」に外部データベースを選択することができます。

マスタデータ	
マスタデータ定義	
保存 保存して新規 閉じる	
業務カテゴリ	その他
コード*	kamoku_mst_data
名称*	科目マスタデータ
データベース*	勘定科目DB
テーブル名*	KAMOKU
利用コンポーネント数	

2.3. 書類データ出力先設定として登録

書類データの出力先に用意した外部データベースを選択できます。

- ▼管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】→【システム／書類データ出力先設定】
出力形式「データベース」にチェックすると、「出力先」に外部データベースを選択することができます。

書類データ出力先設定詳細	
保存 保存して新規 閉じる	
コード*	sisan
設定名称*	資産申請出力
出力形式*	<input type="radio"/> CSV <input checked="" type="radio"/> データベース <input type="radio"/> PDF <input type="radio"/> 添付ファイル
出力先*	sisan_db
出力名称*	